



新型コロナウイルスの 院内感染を乗り越えて



富山市民病院院長 藤村 隆

4月に当院で発生しました新型コロナウイルスの院内感染につきまして、患者さんやそのご家族並びに連携医療機関の先生方に、ご迷惑とご心配をおかけいたしました、ここに深くお詫び申し上げます。

クラスターの発生によって急激に感染が拡大したために多くの職員が出勤することができなくなり、救急も含めて外来、新規入院、手術などほとんどの病院機能をストップいたしました。本来は感染症指定医療機関としてコロナウイルス感染症から市民の健康を守るべき立場にありながら、十分な役目を果たせなかったことは忸怩たる思いであります。

一方、この間多くの市民の皆様や先生方から、心温まる励ましのお言葉や様々の支援を賜り、職員一同多くの元気をいただきました。改めてお礼を申し上げます。お蔭さまで、5月7日より再診、5月19日より二次救急輪番、5月25日より紹介初診を再開することができました。6月1日には、当院で発生した新型コロナウイルスの最後の院内発症から4週間以上を経過し、またすべての院内感染発症者の治癒が確認されたため「終息宣言」を出すことができました。

富山県内では6月に入って新型コロナウイルス感染症は小康状態になったようですが、第二波、第三波の可能性も十分ありうる状況です。外来では、コロナ患者さんが院内に紛れ込まないようにトリアージなどを行いながら診療を行っております。しかしコロナ患者さんはまだ症状がない早い時期から感染力が強いことを考えますと、完全に院内に入れないようにすることは不可能と認識することが重要と考えております。従って入院後の患者さんに対するサーベイランスにも力を置き、新型コロナウイルス感染症が知らない間に蔓延することがないように注視して参ります。

現在、すべての職員に感染予防対策の再教育を行い実践させるとともに、二度と今回のようなことを起こさないよう意識を高めています。新型コロナウイルスのみならず、あらゆる感染症に強い病院に生まれ変わるつもりです。我々のミッション「医療を通して皆様の健康を守り、豊かな地域づくりに貢献する」を達成すべく精進して行く所存ですので、よろしく願いいたします。

今年度より着任した部長からのごあいさつ

循環器内科 桶家です。

この度、循環器内科部長として就任いたしました。長年、厚生連高岡病院の循環器内科にいましたが、今度はより人口の多い富山市の中核病院での勤務となり身の引き締まる思いであります。

循環器診療は、救命救急的な側面と緩和ケアにまで至る慢性期管理の両極端な側面があると思われます。前者については、急性心筋梗塞・急性心不全・急性不整脈に対する緊急治療など、これまで同様対応する所存ですが、より診療の質を上げるべく循環器内科医師の定期的カンファレンス・勉強会を始めました。どの医師が担当しても高度で均一な急性期診療ができるような循環器内科を目指していきます。また、後者は人口の高齢化を迎え、高齢者の心不全・心房細動などが増加していく中で、薬物治療のみならず、多職種チームによる患者・御家族のケアができるようなチーム作りが必要と考えており、ひいては院外施設とも連携ができればと思っております。また、患者さんがおられましたら御紹介よろしくお願いたします。

最後に私的なことにはなりますが、唯一の趣味が下手なゴルフです。就任以降は余裕がなく全然クラブを握っていませんが、こちらもお誘いいただければ幸いです。



循環器内科

桶家 一恭

(おけいえ かずやす)

小児科 和田です。

今年度より富山市民病院に赴任しました和田拓也です。自治医科大学を卒業後15年目で、サブスペシャリティはアレルギーです。当科は常勤医師2名による一般外来および乳児健診、予防接種外来を行っており、専門外来としては、アレルギーの他に、循環器、神経、小児外科外来を行っております。

食物アレルギーでは正しい診断に基づいた必要最小限の除去を念頭に、食べられる量の範囲内で食べていくことを治療の主軸としています。食物アレルギー診療に必須の「食物負荷試験」は、観察時間を長くし安全に行うために基本的に入院下で実施しており、結果に基づく栄養指導を行っております。

コントロール不良な気管支喘息やアトピー性皮膚炎、食物制限が多く、除去解除がなかなか進まない食物アレルギーなどの患者さんに関しても対応させていただきますので、ぜひご相談ください。

地域の皆様が安心して子育てできる診療体制の維持に万全の体制で取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



小児科

和田 拓也

(わだ たくや)

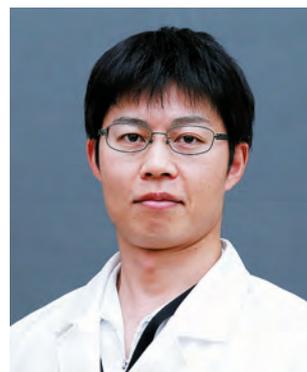
外科 渡邊です。

今年度より富山市民病院に赴任し高度管理治療科部長に就任しました渡邊利史です。平成17年卒業で医師16年目となります。現在まで外科医として主に下部消化管領域を中心に診療を行って参りました。

専門医資格は、日本外科学会専門医（指導医申請中）、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医（大腸）、日本ロボット外科学会Robo Doc certificate（国内B級）を取得しております。当院ではまだロボット支援下手術の導入はされておりませんが、新たに増設した手術室ではロボット支援下手術にも対応可能であるため今後導入に向け準備を進めていきたいと考えております。

高度管理治療科では、疾病により臓器不全に陥った患者さん、あるいは手術直後の患者さんなど、嚴重な観察や介入を要する患者さんを受け入れます。各科の医師のみならず全ての医療スタッフが連携し患者さんの状態が安定するまでの間を担当しており、集中治療部の一環として、より高度な医療を要する集中治療室と一般病棟との橋渡しのような役目を担っております。

地域の先生方からご紹介いただいた患者さんに安全で質の高い治療を提供し、円滑に退院してまた地域の先生方の元に通っていただけるよう努めて参ります。ご意見、ご指導など宜しくお願い申し上げます。



外科

渡邊 利史

(わたなべ としふみ)

放射線治療科 今村です。

令和2年4月1日付けで放射線治療科部長として着任いたしました今村朋理です。私は平成15年卒放射線治療専門医で、昨年度までは富山県立中央病院ですべての領域のがんに対する放射線治療に携わって参りました。

当院には2016年4月よりトモセラピー（TomoHDA）が導入されております。トモセラピーはリニアックとCTが一体となったIMRT（強度変調放射線療法）専用機で、毎回の照射直前にCTを撮影して位置のずれを三次元的に補正して照射を行うことでより高い精度で治療を行うことができます。また、360度のあらゆる角度からあらゆる形に放射線の強度を変えながら回転照射を行うことで、隣接する正常組織にあたる放射線の線量を低減し、病変に高い線量を集中して照射できるのに加え、寝台をスライドさせながら照射することができるため、定位放射線治療（ピンポイント照射）から広範囲に広がった複数病変に対する同時照射まで可能です。

当院の放射線治療科はしばらく非常勤体制で運営してまいりましたが、今年度より常勤体制となり、地域の先生方からのご依頼に迅速に対応できる体制が整いました。地域の先生方や患者さんに少しでもお役に立てるよう努力して参りたいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



放射線治療科

今村 朋理

(いまむら ともよし)

今年度より着任した部長からのごあいさつ

緩和ケア内科 加登です。

これまで都内のがん診療連携拠点病院で、チーム医療を通じ緩和ケアの経験を積んできました。この度、患者さんにより近い立場で緩和ケアを経験することを望み、富山市民病院へ参りました。

それにあたりまして、私の目指す支援のひとつが『公正な意思決定』です。国民皆保険の日本でも医療格差は存在しますが、最終的な生き方を決める“手続き”は医療倫理の考え方を基にフェアに行うことが大切だと考えています。また痛みなどの症状緩和は、苦痛からの解放という患者権利の視点以外に、判断能力の最大化という意思決定支援の視点からも重要であり、専門的にアプローチします。

富山市民病院の緩和ケア部門には経験豊かな多くの専門職が揃い、市民に対して開かれたシステムを備えています。緩和ケアが市民の身近にあって、しかもその質が高いことは、当院の理念『医療を通じた豊かな地域づくり』に繋がります。未曾有の現状において、緩和ケアの提供方法が変化したとしても、その中で最善を尽くします。

最期まで当院で療養される患者さんはもちろん、当院から他施設または自宅へ移られる方を含め、全ての意思決定に本人の価値観が公正に反映され、その結論に皆が納得できる、そんな支援を目指します。



緩和ケア内科
加登 大介
(かとう だいすけ)

7月分 研修・講演・学習会のご案内

◎地域連携症例検討会

地域連携症例検討会の開催につきましては、現在、見合わせしているところです。今後の開催日等詳細につきましては、状況を見ながら決定次第ご連絡いたします。

◎定例の研修会、看護研修、衛星研修S-QUE視聴研修は、当面の間、開催を中止いたします。

衛星研修S-QUE研修の資料をご希望の方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

- 配信期間 7月6日～8月3日 慢性心不全の患者さんのケア
- 配信期間 7月20日～8月17日 12誘導心電図の読み方～中級編～

※お問合せは、ふれあい地域医療センターで承ります。TEL 076-422-1114 (直) FAX 076-422-1154 (直)

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	政岡	1日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	10日
脳神経外科	毛利	21日	歯科口腔外科	寺島	8日、22日
皮膚科	北野	31日		朝倉	6日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

日本中に広まったコロナウイルスの感染がようやく落ち着きはじめました。

院内感染につきまして、皆さまに多大なご迷惑をおかけしましたこと、今一度お詫び申し上げます。

私たちは、患者さま、関係者の皆さま、地域の皆さまのあたたかいお言葉に支えられてきました。縮小していた医療体制を再建した今、その感謝を充実した地域医療でお返ししていくしかないと思っております。再出発した富山市民病院を今後ともよろしく願っています。

感染症につきましては、まだまだ気を緩められない期間が続きます。感染対策はもちろんですが、皆さま、お体の健康、心の健康にも留意してお過ごしください。



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp